

振興会だより

北海道千歳高等支援学校
進路指導・卒後支援振興会事務局
第19号
令和7年2月28日(金)

◇ 振興会への感謝と全ての生徒の支えになるために ◇

校長 久富 正規

北海道の春は、まだ少し先のようにですが、日の暖かさが心地よく感じるようになり、いよいよ「卒業」を迎える季節となりました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

4月から一人一人が新たな生活のスタートを迎えます。これからこそが人生の本番です。いつまでも夢や希望をもち続け、健康で充実した生活を過ごしてくれることを願っています。

さて、今年度の千歳高等支援学校は、積極的な教育活動を進めることができました。学校外での学習や外部の方に学校に来ていただく機会も意図的に設定しました。また、地域とのつながりをより強固なものにするために学校運営協議会の委員も5名から10名に増やし、学校に対して様々な御意見をいただくようにしました。このような教育活動を進めながら進路指導・卒後支援振興会の助けの中、卒業生の活躍する姿も見せていただきました。在校生にとっては、生き生きと社会で頑張る先輩の姿は、自分たちの未来を見据えるための道標となる存在です。社会で頑張る先輩の今の姿が在校生の未来を見る勇気につながっています。

この時代に卒業後に社会で働き、生活することはたやすいことではありません。時に不安になったり、悩んだりすることも勿論あると思います。このような時に相談できる人がいることや相談できる場所があることで自分の心を支えることができます。そのために皆さんの心に寄り添えるよう進路指導・卒後支援振興会と協力し、様々な取組を行ってまいります。

情勢が著しく変化する社会の中で毎日頑張っている卒業生やその未来を信じて本校で頑張っている生徒たち、これから千歳高等支援学校に入学しようと考えているお子さんたちには、自分を支えてくれる人とのつながりを大切にしてほしいと思います。社会で頑張るためには、自分の周りにいる人を大切にするのがその第一歩です。

進路指導・卒後支援振興会の御協力をいただきながら、社会で自分らしくあるために皆さんの背中を少しでも押すことができるようなつながりを大切にした取組が進められるよう引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。最後に今年度の多くの御協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



◇ 会長より挨拶 ◇

会長 竹内 千佳

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

いつもPTA活動、卒後支援振興会に御理解と御協力をいただきまして、深く感謝いたします。

早いもので、9回生の皆様が高校を卒業してもうすぐ1年が経とうとしています。卒業後、慣れない環境で最初は大変なこともあったと思いますが、毎日頑張ったたくさんの経験を積んでいることと思います。

私の息子も4月から市内の事業所に通っています。高校に通学していたときより遅い時間に出勤し、帰宅時間も早いのですが、「今日は重い物をたくさん運んで疲れた～」と、学生時代は息子の口からほとんど聞いたことのない「疲れたよ～」という言葉を度々聞くようになりました。それでも事業所には同窓の先輩もいて、優しく仕事内容を教えてくれたり、遊びに連れて言ってくれたりして、先輩たちや周囲の方々のおかげで元気に楽しく通っています。

また、1月11日に開催された同窓会では、久しぶりに同級生や先輩、先生方と会えて、一緒にビンゴやクイズをして、とても楽しい時間を過ごしたようでした。同窓会を企画・準備してくださった皆様、本当にありがとうございました。

3月には3年生が卒業し、新たに10回生として同窓会の仲間になることを楽しみに待っています。今後も在校生や卒業生、そして先生方や御家族の皆様が支え合い、充実した日々を過ごせるよう心から願っています。

◇卒業巡回◇

令和6年度は、7～9回生40名以上の卒業巡回を行いました。社会人としての生活がスタートし、張り切っている様子や仕事にすっかり慣れて楽しく仕事に取り組む様子を見て、卒業生の活躍を肌で感じることができました。職場の方からは、「とても頑張っています」「力になってくれています」「いないと困ります」「誰よりも仕事を覚えています」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。学生生活を卒業し、社会人としての自覚が芽生え、見た目にも大人の雰囲気を感じます。そうした卒業生たちの頑張りは、後輩たちのより良い進路へと繋がっていきます。

卒業生たちから在校生である後輩たちへのアドバイスをいただきました。学生の中に必ず身に付けるべきこと。それは「体力」です。体の体力はもちろん、心の体力も求められます。働くために必要なことを高校生活でしっかりと身に付けましょう。

◇同窓会総会、同窓会行事◇

1月11日（土）の11時から3時間半ほどの時間、卒業生と教職員が本校体育館に集まって行われました。

内容は、最初にレクリエーションがあり、同窓会総会で令和6年度同窓会行事の報告、令和7年度の同窓会行事予定を確認した後、同窓会役員の改選が行われました。同窓会総会の後の会食では、おいしい料理を食べながら思い出話に花が咲きました。また、会食の前後には情報交流をしたり、ビンゴゲームをしたりして、盛り上がりしました。

令和7年度の同窓会行事は、令和8年1月11日（土）を予定していましたが、令和8年1月17日（土）の予定です。内容や場所は未定ですが、同窓生が集い、盛り上がることを楽しみにしています。

◇令和7年度 進路指導・卒業支援関係行事予定◇

令和7年度の進路指導・卒業支援関係行事については、学校行事の見直しを図っており、次年度の振興会だよりなどでお知らせします。

◇進路指導・卒業支援振興会について◇

本校在籍の全保護者・卒業3年までの保護者が加入している会で、在学中に20,000円の会費を納入していただき、本校の進路指導や卒業支援に役立てています。

本校の卒業支援は進路指導係を中心に、下記の4つを行っています。

☆通 信（文章による支援）

○定期的に卒業生、家庭（保護者）へ便りを送り、情報の提供、行事の案内等を行います。

①卒業生へ向けて年に3回「クローバーだより」（同窓会「クローバーの会」の会報）を発行します。

各行事の案内がのっています。

②家庭（保護者）へ向けて年に2回「振興会だより」を発行します。行事報告、卒業支援、福祉サービスについての情報提供等が主な内容です。

☆訪 問（巡回による支援）

○定期的に卒業生の進路先を訪問し、現況把握に努めます。また、卒業生、保護者、事業所、職場等からの要請があれば、必要に応じて訪問し問題に対処します。

・卒業3年は、年1～2回の訪問、その後は、相談があった場合必要に応じて訪問しています。

☆行 事（招集による支援）

○同窓会行事、同窓会入会式を企画し、卒業生を招集します。

行事を通して生活領域の拡大と趣味、スポーツ等の余暇活動の充実を図ります。

☆相 談（電話など相談による支援）

- 卒業生にとって、より身近で迅速な支援を行うために、電話等での相談、連絡調整、情報提供にも随時応じています。必要に応じて進路先、家庭、関係諸機関等を訪問し問題の対処に当たります。
- ・全卒業生に対して行っています。悩み事や困っていることがあれば、いつでも対応しています。

◇事務局より◇

「障害基礎年金」は知っていますか。満 20 歳になると、「障害基礎年金」の対象となります。詳細については、各市町村の年金窓口にご相談してみてください。

また、職場での悩みや相談ごとなどがありましたら、進路担当までお電話ください。